

令和5年度供給・献血実績等について



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

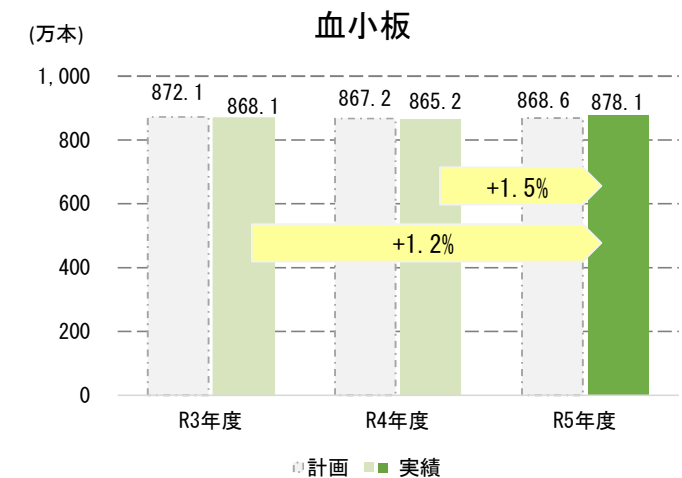
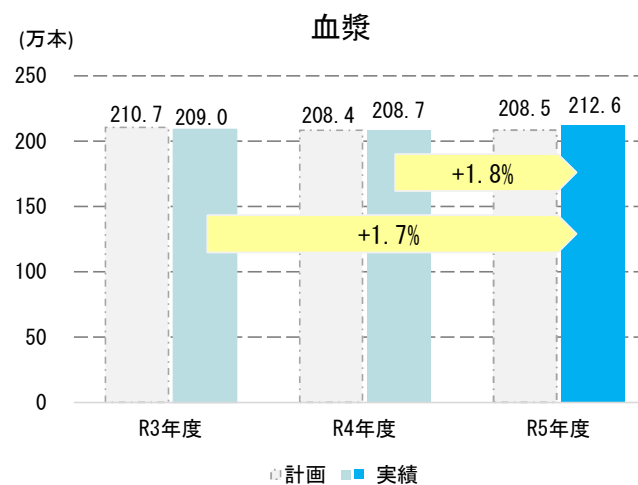
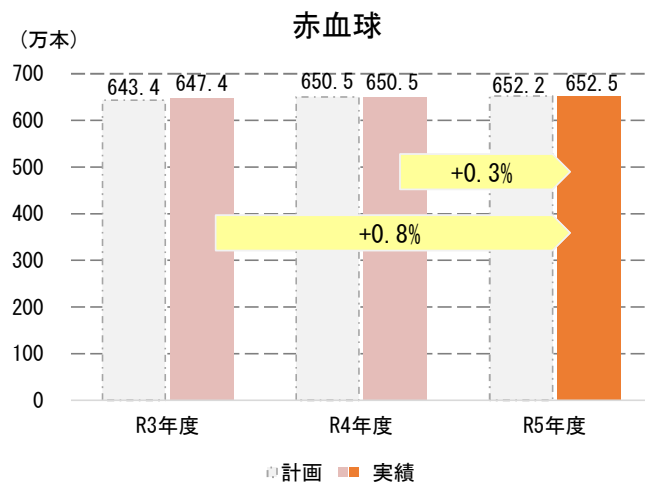
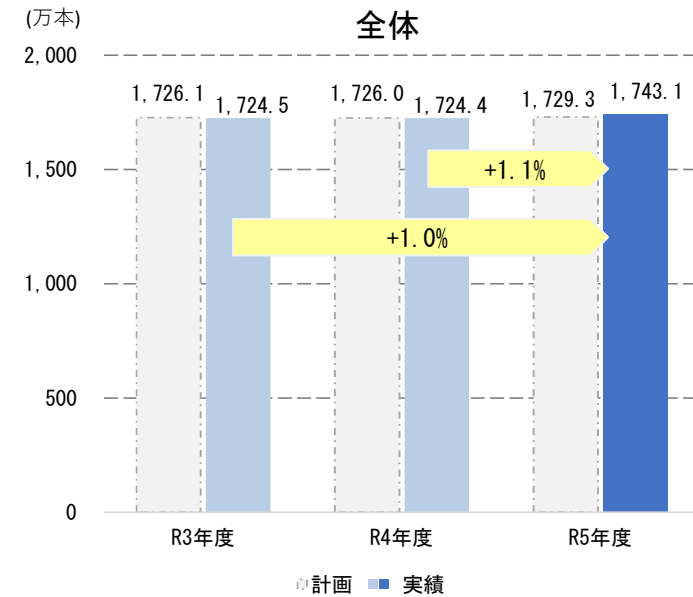
令和6年7月1日（月）
薬事・食品衛生審議会
血液事業部会献血推進調査会

- 1 供給実績
- 2 献血実績
- 3 各種施策について
- 4 まとめ

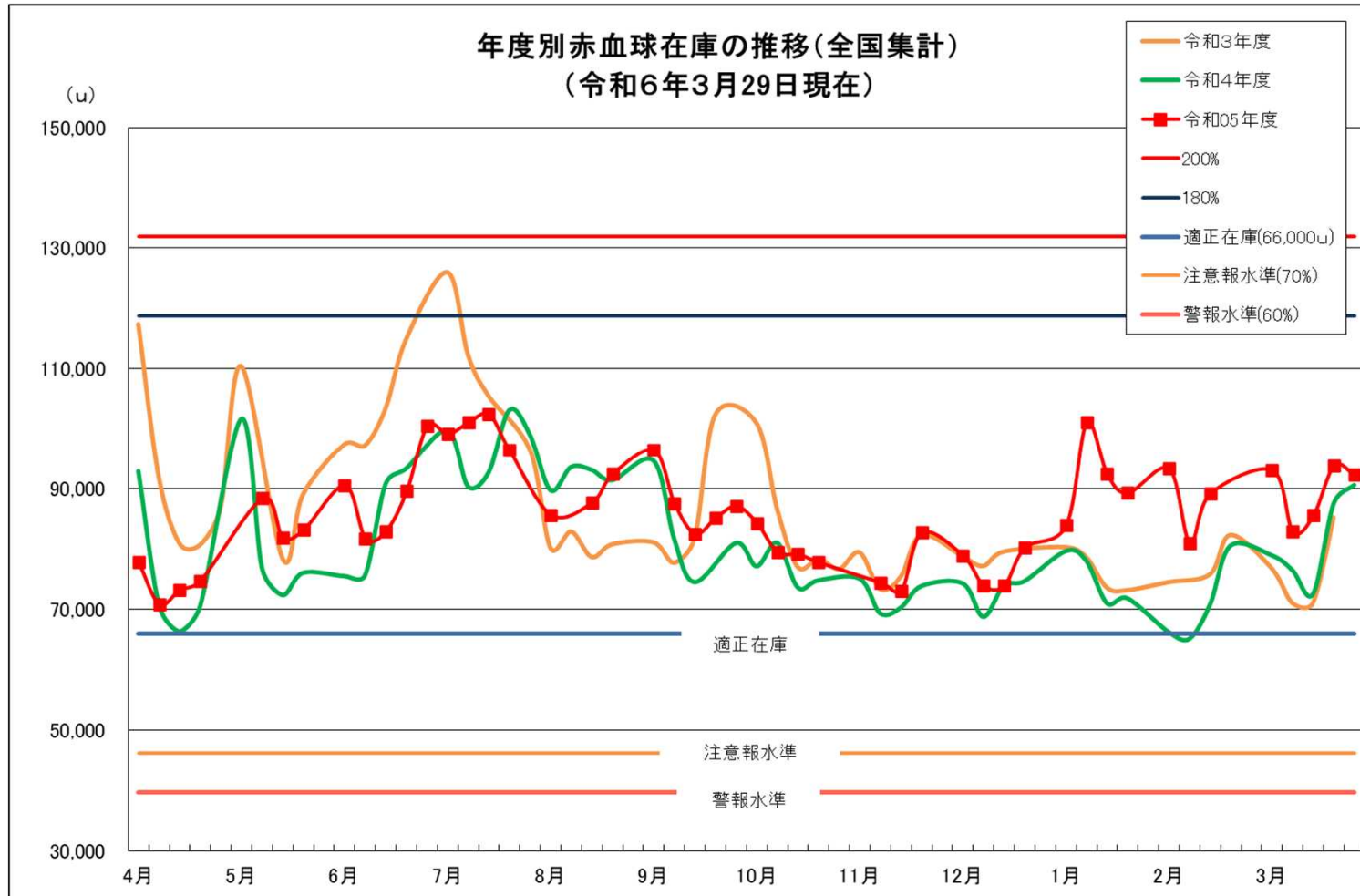
1 供給実績

- 全体は令和4年度実績に対し、1.1%増の約1,743万本
- 赤血球は0.3%増の約652.5万本
- 血漿は1.8%増の約212.6万本
- 血小板は1.5%増の約878.1万本

※製剤本数は200mL献血由来を1本とした換算数



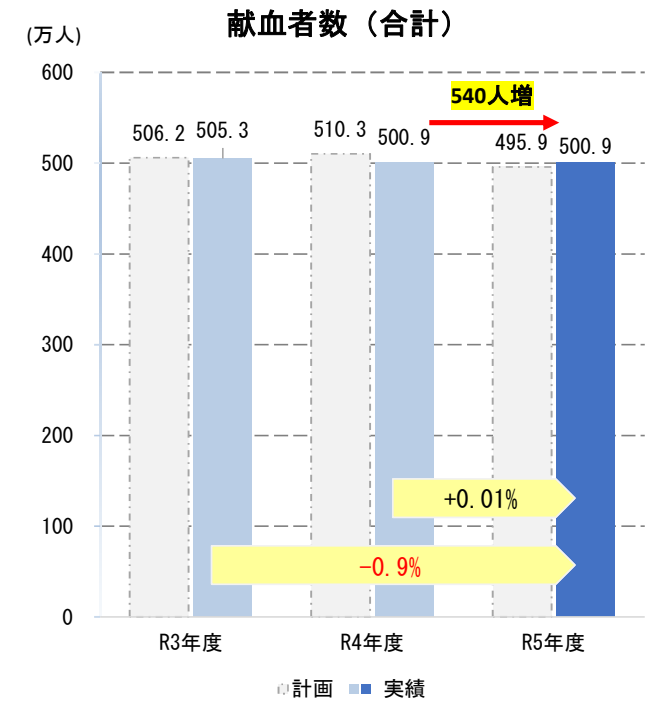
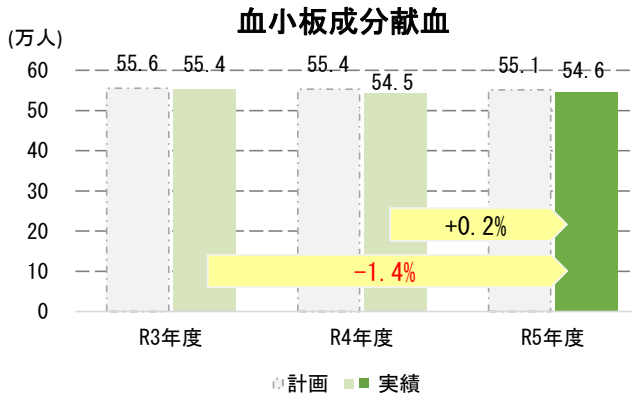
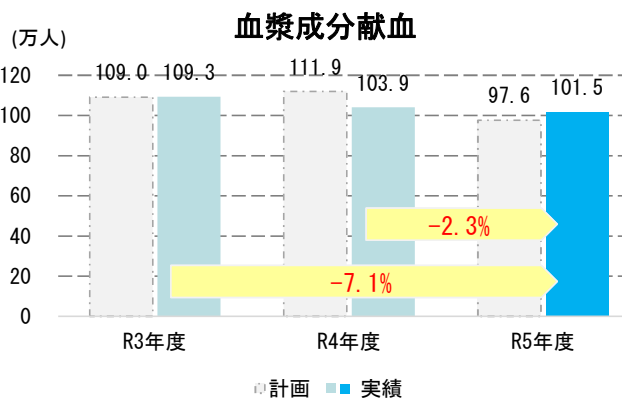
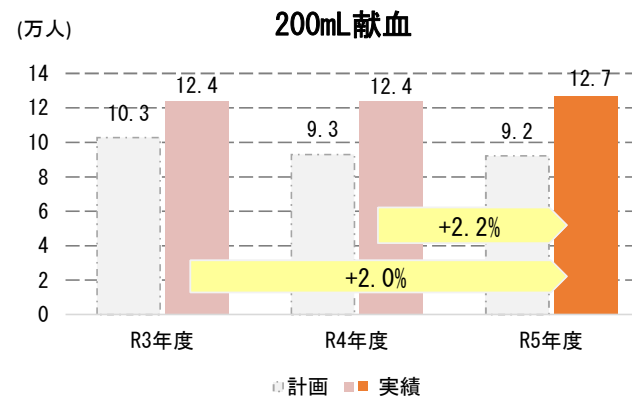
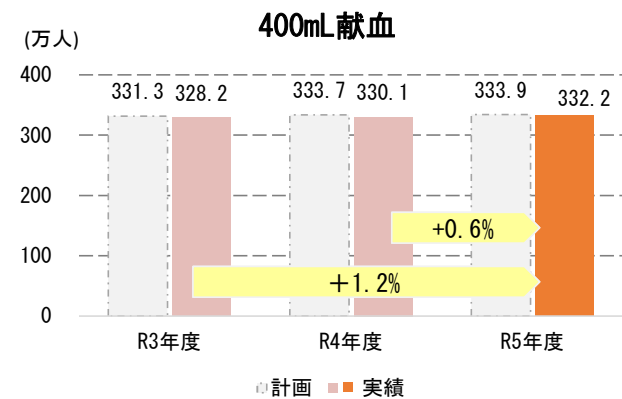
赤血球製剤の在庫推移



年間を通じて安定供給が確実に行えている

2 献血実績

総献血者数は、令和4年度比で540人増（0.01%増）の約500万9千人

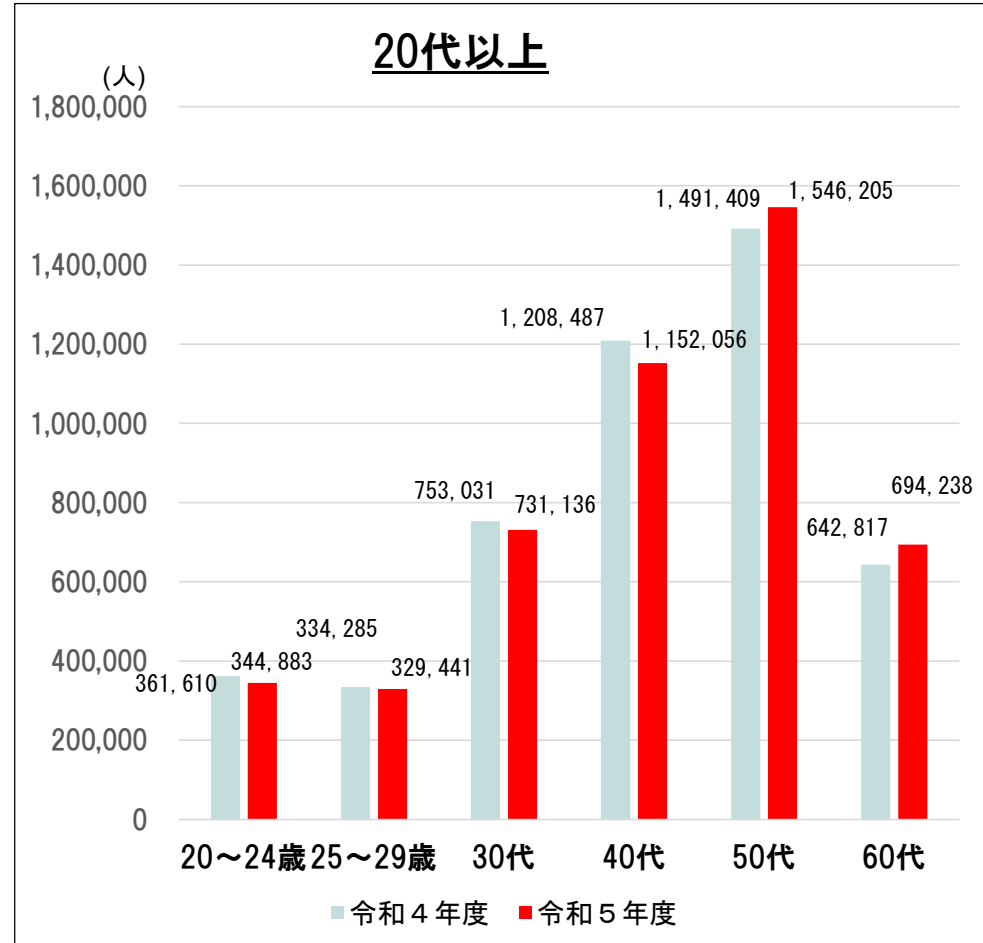
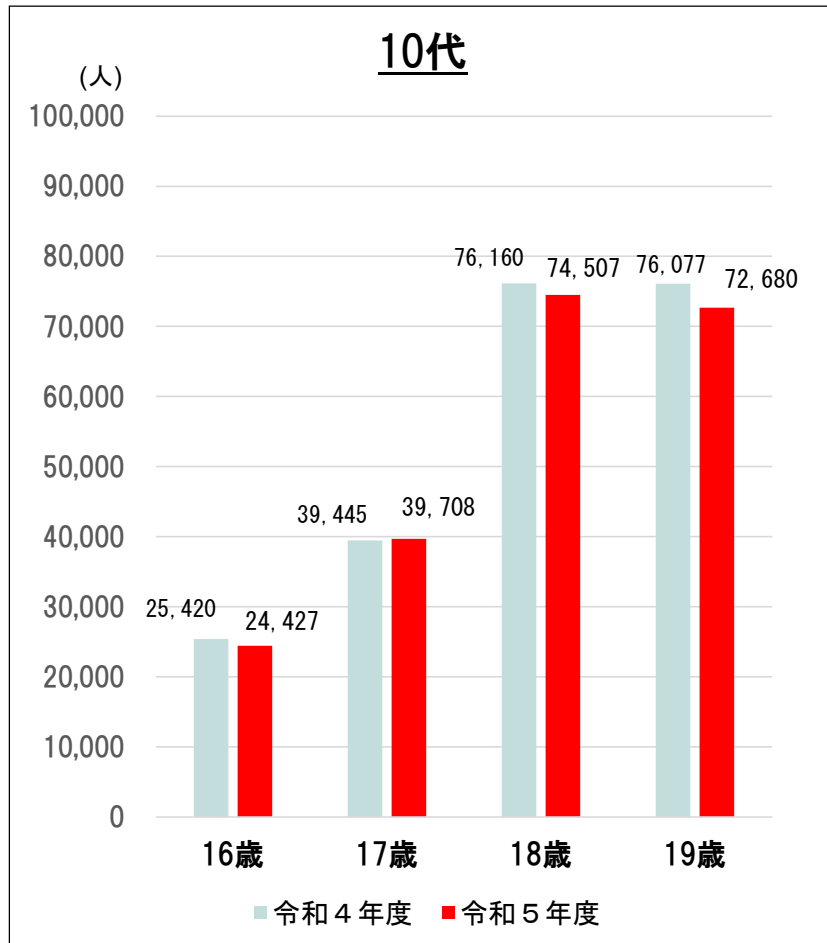


献血推進計画における確保目標量に対する実績

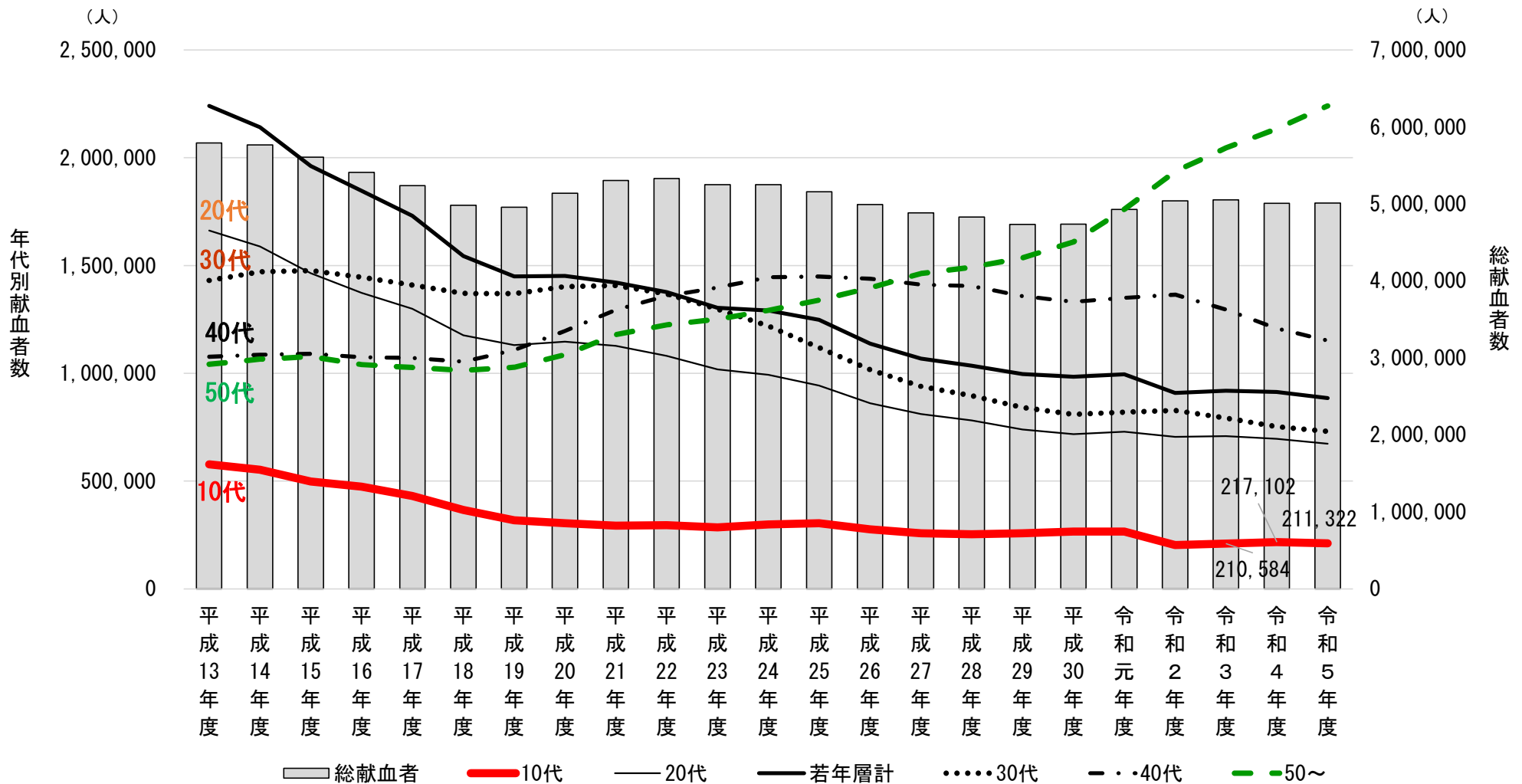
種別	目標量	採血量（実績）
全血採血	135万リットル	135万リットル
血漿成分採血	54万リットル	57万リットル
血小板成分採血	31万リットル	31万リットル

年代別献血状況（対前年度）

10代の献血者は、対前年度で5,780人減（-2.7%）であった。

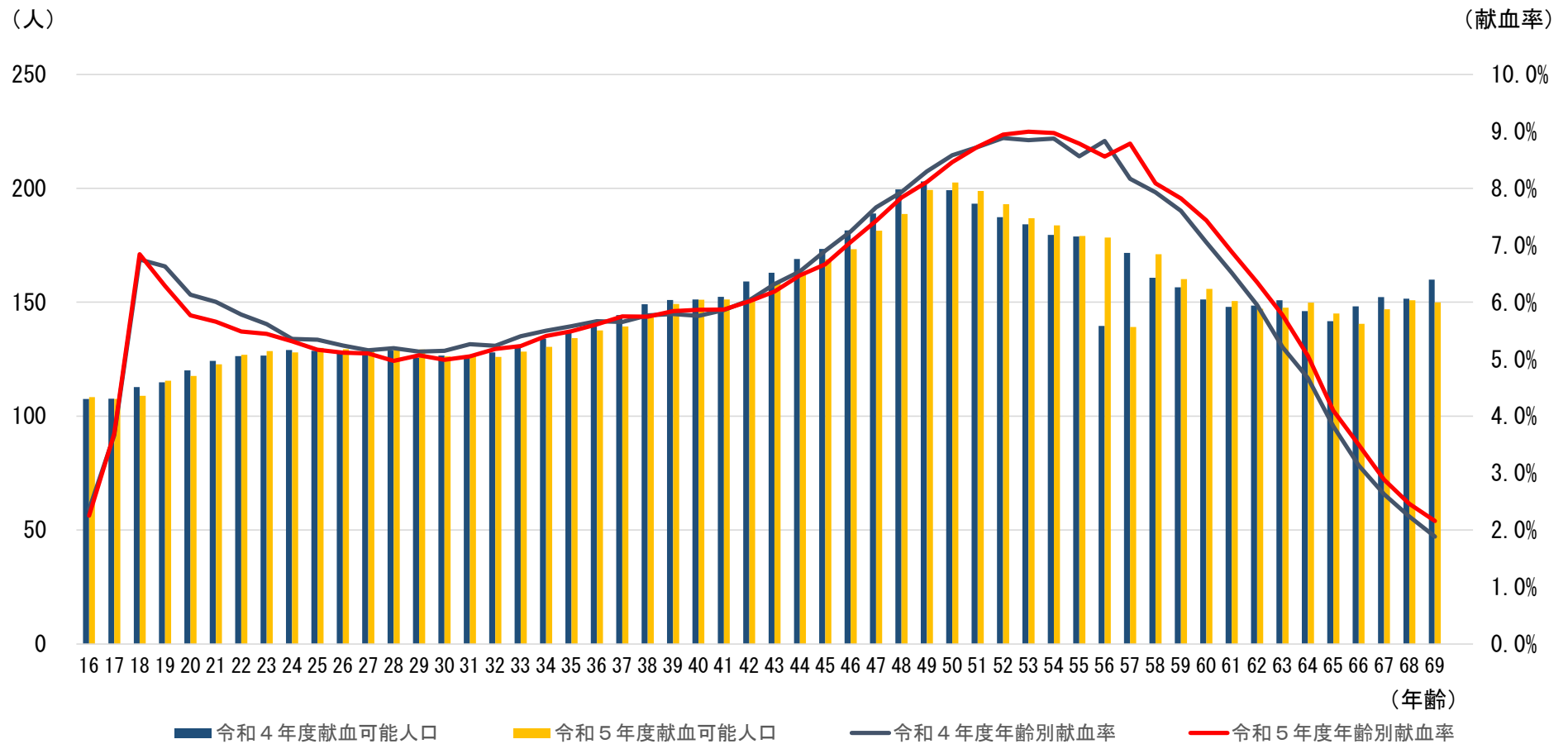


延べ献血者数（年代別・総数）



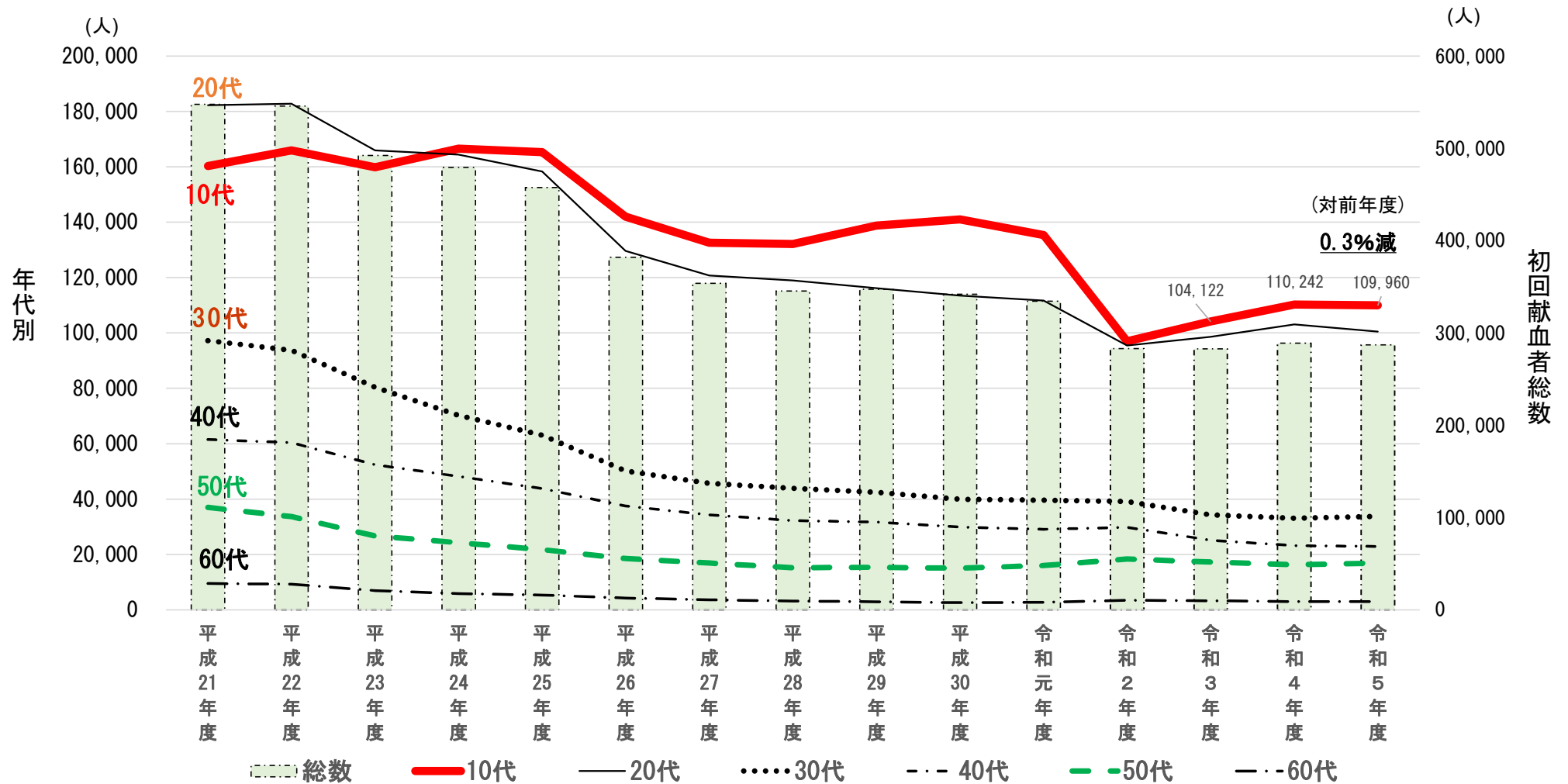
年齢別献血可能人口と献血率

年齢別献血率は、20歳前後で減少、50代後半から増加、その他は令和4年度とほぼ同じである。



初回献血者（年代別、総数）

10代の初回献血者は、対前年度282人減（-0.3%）であった。



都道府県別10代献血者数

年代	10代				
	16歳～19歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (R4年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	11,800	12,411	12,911	105.2%	96.1%
北海道ブロック	11,800	12,411	12,911	105.2%	96.1%
青森県	2,372	2,778	2,842	117.1%	97.7%
岩手県	2,333	1,830	1,994	78.4%	91.8%
宮城県	4,580	4,462	4,280	97.4%	104.3%
秋田県	1,664	1,278	1,460	76.8%	87.5%
山形県	2,115	2,199	2,204	104.0%	99.8%
福島県	3,789	2,990	2,798	78.9%	106.9%
東北ブロック	16,853	15,537	15,578	92.2%	99.7%
茨城県	6,898	5,690	6,419	82.5%	88.6%
栃木県	9,740	7,964	8,473	81.8%	94.0%
群馬県	5,710	5,465	5,580	95.7%	97.9%
埼玉県	13,330	10,742	10,660	80.6%	100.8%
千葉県	10,879	10,232	10,190	94.1%	100.4%
東京都	24,299	24,450	24,493	100.6%	99.8%
神奈川県	15,358	12,457	12,740	81.1%	97.8%
新潟県	4,509	3,714	3,801	82.4%	97.7%
山梨県	2,887	2,873	2,848	99.5%	100.9%
長野県	3,301	2,622	2,545	79.4%	103.0%
関東甲信越ブロック	96,911	86,209	87,749	89.0%	98.2%
富山県	2,051	1,728	1,721	84.3%	100.4%
石川県	2,433	2,207	2,077	90.7%	106.3%
福井県	1,608	988	938	61.4%	105.3%
岐阜県	4,035	3,158	2,771	78.3%	114.0%
静岡県	7,301	6,015	6,081	82.4%	98.9%
愛知県	16,283	12,700	13,985	78.0%	90.8%
三重県	3,521	1,889	1,776	53.6%	106.4%
東海北陸ブロック	37,232	28,685	29,349	77.0%	97.7%

年代	10代				
	16歳～19歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (R4年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
滋賀県	2,767	2,287	2,381	82.7%	96.1%
京都府	5,325	3,772	4,246	70.8%	88.8%
大阪府	18,651	12,727	14,238	68.2%	89.4%
兵庫県	11,705	6,956	7,735	59.4%	89.9%
奈良県	2,124	1,727	1,700	81.3%	101.6%
和歌山県	2,486	2,092	1,976	84.2%	105.9%
近畿ブロック	43,058	29,561	32,276	68.7%	91.6%
鳥取県	918	673	627	73.3%	107.3%
島根県	923	577	463	62.5%	124.6%
岡山県	4,322	2,761	2,592	63.9%	106.5%
広島県	6,492	4,234	4,936	65.2%	85.8%
山口県	2,100	1,744	1,975	83.0%	88.3%
徳島県	999	620	635	62.1%	97.6%
香川県	1,872	1,565	1,454	83.6%	107.6%
愛媛県	3,154	2,108	2,109	66.8%	100.0%
高知県	1,282	937	942	73.1%	99.5%
中四国ブロック	22,062	15,219	15,733	69.0%	96.7%
福岡県	12,500	10,293	10,025	82.3%	102.7%
佐賀県	1,859	1,038	1,063	55.8%	97.6%
長崎県	2,639	1,885	1,782	71.4%	105.8%
熊本県	4,050	3,425	3,461	84.6%	99.0%
大分県	2,224	1,028	1,107	46.2%	92.9%
宮崎県	2,339	1,254	1,354	53.6%	92.6%
鹿児島県	3,233	2,007	1,958	62.1%	102.5%
沖縄県	2,916	2,770	2,756	95.0%	100.5%
九州ブロック	31,760	23,700	23,506	74.6%	100.8%
合計	259,676	211,322	217,102	81.4%	97.3%
差異 (R5-R4)			-5,780		

都道府県別20代献血者数

年代	20代				
	20~29歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (R4年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	37,400	33,990	35,650	90.9%	95.3%
北海道ブロック	37,400	33,990	35,650	90.9%	95.3%
青森県	7,557	6,222	6,401	82.3%	97.2%
岩手県	7,536	6,070	6,053	80.5%	100.3%
宮城県	17,394	13,350	14,023	76.8%	95.2%
秋田県	5,171	4,816	5,191	93.1%	92.8%
山形県	6,622	5,514	5,573	83.3%	98.9%
福島県	12,702	8,115	8,806	63.9%	92.2%
東北ブロック	56,982	44,087	46,047	77.4%	95.7%
茨城県	14,340	11,991	12,388	83.6%	96.8%
栃木県	11,760	11,756	11,998	100.0%	98.0%
群馬県	12,460	9,702	10,727	77.9%	90.4%
埼玉県	34,710	29,584	30,203	85.2%	98.0%
千葉県	36,110	32,075	32,511	88.8%	98.7%
東京都	123,220	102,070	101,793	82.8%	100.3%
神奈川県	45,210	44,343	44,974	98.1%	98.6%
新潟県	15,980	11,744	12,439	73.5%	94.4%
山梨県	5,040	4,471	4,712	88.7%	94.9%
長野県	11,230	9,254	9,290	82.4%	99.6%
関東甲信越ブロック	310,060	266,990	271,035	86.1%	98.5%
富山県	5,729	5,388	5,379	94.0%	100.2%
石川県	6,161	5,952	6,138	96.6%	97.0%
福井県	3,948	3,260	3,269	82.6%	99.7%
岐阜県	9,537	7,203	7,260	75.5%	99.2%
静岡県	18,430	14,891	15,600	80.8%	95.5%
愛知県	47,503	43,487	46,231	91.5%	94.1%
三重県	9,049	7,055	7,317	78.0%	96.4%
東海北陸ブロック	100,356	87,236	91,194	86.9%	95.7%

年代	20代				
	20~29歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (R4年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
滋賀県	7,160	6,450	6,778	90.1%	95.2%
京都府	17,500	15,898	17,012	90.8%	93.5%
大阪府	65,500	57,770	58,315	88.2%	99.1%
兵庫県	32,518	26,177	27,609	80.5%	94.8%
奈良県	6,940	5,759	6,056	83.0%	95.1%
和歌山県	5,100	4,871	5,157	95.5%	94.5%
近畿ブロック	134,718	116,925	120,927	86.8%	96.7%
鳥取県	3,550	2,946	3,024	83.0%	97.4%
島根県	2,931	2,315	2,436	79.0%	95.0%
岡山県	12,032	10,106	10,302	84.0%	98.1%
広島県	21,440	15,013	15,350	70.0%	97.8%
山口県	5,956	5,502	6,078	92.4%	90.5%
徳島県	4,267	2,648	2,955	62.1%	89.6%
香川県	5,121	4,036	4,380	78.8%	92.1%
愛媛県	9,615	7,526	8,138	78.3%	92.5%
高知県	4,522	3,925	4,006	86.8%	98.0%
中四国ブロック	69,434	54,017	56,669	77.8%	95.3%
福岡県	35,128	29,309	30,294	83.4%	96.7%
佐賀県	4,900	3,526	3,939	72.0%	89.5%
長崎県	8,376	6,335	6,620	75.6%	95.7%
熊本県	10,200	8,418	8,816	82.5%	95.5%
大分県	6,489	4,927	5,122	75.9%	96.2%
宮崎県	5,964	4,693	4,886	78.7%	96.0%
鹿児島県	9,826	7,137	7,791	72.6%	91.6%
沖縄県	8,460	6,734	6,905	79.6%	97.5%
九州ブロック	89,343	71,079	74,373	79.6%	95.6%
合計	798,293	674,324	695,895	84.5%	96.9%
差異 (R5-R4)			-21,571		

都道府県別30代献血者数

年代	30代				
	30～39歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (R4年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	40,000	34,712	36,557	86.8%	95.0%
北海道ブロック	40,000	34,712	36,557	86.8%	95.0%
青森県	8,631	7,239	7,385	83.9%	98.0%
岩手県	8,554	6,701	6,605	78.3%	101.5%
宮城県	18,966	13,852	14,667	73.0%	94.4%
秋田県	6,219	5,678	6,294	91.3%	90.2%
山形県	7,591	6,632	6,950	87.4%	95.4%
福島県	13,928	11,243	11,964	80.7%	94.0%
東北ブロック	63,889	51,345	53,865	80.4%	95.3%
茨城県	17,550	14,305	14,628	81.5%	97.8%
栃木県	15,440	14,193	14,672	91.9%	96.7%
群馬県	16,170	11,784	12,695	72.9%	92.8%
埼玉県	40,730	33,320	33,893	81.8%	98.3%
千葉県	40,480	33,707	33,630	83.3%	100.2%
東京都	118,380	97,080	97,359	82.0%	99.7%
神奈川県	54,450	46,300	47,068	85.0%	98.4%
新潟県	17,270	13,513	14,053	78.2%	96.2%
山梨県	5,710	4,824	4,993	84.5%	96.6%
長野県	13,900	10,578	10,709	76.1%	98.8%
関東甲信越ブロック	340,080	279,604	283,700	82.2%	98.6%
富山県	6,293	5,736	5,560	91.2%	103.2%
石川県	7,163	5,878	6,281	82.1%	93.6%
福井県	4,960	4,018	4,174	81.0%	96.3%
岐阜県	11,904	8,710	8,919	73.2%	97.7%
静岡県	24,057	18,990	19,624	78.9%	96.8%
愛知県	56,244	42,991	44,300	76.4%	97.0%
三重県	11,416	9,329	9,796	81.7%	95.2%
東海北陸ブロック	122,037	95,652	98,654	78.4%	97.0%

年代	30代				
	30～39歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (R4年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
滋賀県	9,560	7,797	7,590	81.6%	102.7%
京都府	16,100	15,043	15,935	93.4%	94.4%
大阪府	66,300	55,300	55,957	83.4%	98.8%
兵庫県	37,715	28,970	30,720	76.8%	94.3%
奈良県	8,260	6,545	6,854	79.2%	95.5%
和歌山県	6,800	5,684	5,954	83.6%	95.5%
近畿ブロック	144,735	119,339	123,010	82.5%	97.0%
鳥取県	4,850	3,611	3,879	74.5%	93.1%
島根県	3,844	3,026	3,144	78.7%	96.2%
岡山県	13,908	10,887	11,869	78.3%	91.7%
広島県	23,377	16,159	16,474	69.1%	98.1%
山口県	7,830	6,658	7,184	85.0%	92.7%
徳島県	5,732	4,015	4,314	70.0%	93.1%
香川県	7,066	5,111	5,323	72.3%	96.0%
愛媛県	11,010	7,487	7,796	68.0%	96.0%
高知県	5,452	4,578	4,773	84.0%	95.9%
中四国ブロック	83,069	61,532	64,756	74.1%	95.0%
福岡県	40,946	32,321	33,449	78.9%	96.6%
佐賀県	6,070	4,794	5,196	79.0%	92.3%
長崎県	10,907	8,555	8,980	78.4%	95.3%
熊本県	13,200	10,687	10,833	81.0%	98.7%
大分県	8,951	6,815	6,890	76.1%	98.9%
宮崎県	7,488	6,012	6,385	80.3%	94.2%
鹿児島県	12,091	9,823	10,502	81.2%	93.5%
沖縄県	13,100	9,945	10,254	75.9%	97.0%
九州ブロック	112,753	88,952	92,489	78.9%	96.2%
合計	906,563	731,136	753,031	80.6%	97.1%
差異 (R5-R4)			-21,895		

3 各種施策について

(1) 広報展開等

ア 令和5年9月から『つなげ、その「ち」から』プロジェクトを展開

- ・ポスターの製作
- ・テレビCMの制作（15秒）
- ・WEB CMの制作（30秒×2本）
- ・ラジオCMの制作（20秒）
- ・公式WEBサイトの設置



つなげ、
その「ち」から。

イ 令和6年1月～2月「はたちの献血」キャンペーンの実施

- ・ポスターの製作
- ・テレビCMの制作（15秒）
- ・WEB CMの制作（30秒）
- ・ラジオCMの制作（20秒）
- ・公式WEBサイトの設置

(2) TVアニメ『SPY×FAMILY』キャンペーン

※キャンペーンはすでに終了しています。

第1弾

【実施時期】 2023年9月12日～11月10日

【対象】 ラブラッド会員で希望された献血者

【記念品】 ポストカード

第2弾

【実施時期】 2023年11月14日～12月31日

【対象】 ラブラッド会員で希望された献血者

【記念品】 タオルハンカチ

第1弾 2023年9月12日(火)～2023年11月10日(金)

オリジナルポストカード

先着 30,000名様



第2弾 2023年11月14日(火)～2023年12月31日(日)

オリジナルタオルハンカチ

先着 30,000名様



(3) SNS (TikTok) を活用した広報

放課後献血Short Movie

はじめて献血する学生ならではの不安を払拭する、等身大の高校生インフルエンサーによるリアルな放課後の献血Vlog動画

高校生TikTokerを起用して、
より等身大で影響力のある動画を配信

寄せられたコメント (一部抜粋)

おれも献血いつてみたいな。痛いかな??

高校生からできるの!?

献血怖くない?

16歳になったら絶対行く

私も献血いこうかな!

私は、助けて貰った側で輸血しているから出来ない
でも、献血してくれる人がいるから助かる命もたくさんある。献血してくれる人が増えるといいな😊



平松想乃/ひらまつその
sono7na
フォロワー392.8K人

掲載期間
2024年3月12日~26日

約524万再生

<https://www.tiktok.com/@sono7na/video/7351381944602529026>



ひまひま
himahima_channel
フォロワー340.0K人

掲載期間
2024年3月29日~4月11日

約546万再生

https://www.tiktok.com/@himahima_channel/video/7345399476351225089



※令和6年5月末時点も掲載中であり、再生数は5月末時点のもの

(4) 献血セミナー用統一資材の作成

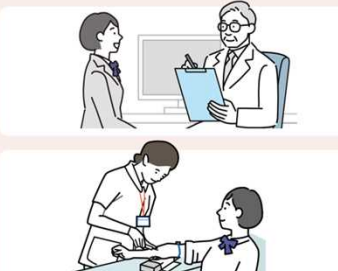
各血液センターが独自で作成している説明内容等を統一し、高校生を対象とした全国統一のセミナー資材を作成。

献血に対する不安を1つずつ解消していき、献血を知ってもらう構成。

献血って怖くない？

● 貧血にならない？ ●

献血する前に健康状態や血液の濃さなどを
医師と看護師が確認するので安心安全！



- ✓ 医師による健康チェック
- ✓ ヘモグロビン等の測定
- ✓ 血液型の事前判定
- ✓ 血小板数の判定(成分献血)

19

高校生でもできるの？

● どこでできるのかわからない ●

オシャレで
清潔！

東京都の献血ルームは、**14カ所**！

- 東京八重洲献血ルーム
- 献血ルーム池袋い〜すと
- 献血ルームfeel



- 〒104-0028
東京都中央区八重洲二丁目1番1号
YANMAR TOKYO 3F
- 〒170-0013
豊島区東池袋1-1-4
タカセセントラルビル8階
- 〒131-0045
墨田区押上1-1-2
東京スカイツリータウン・ソラマチ10階

60

(5) 小学4年生に向けた献血教育冊子の配付

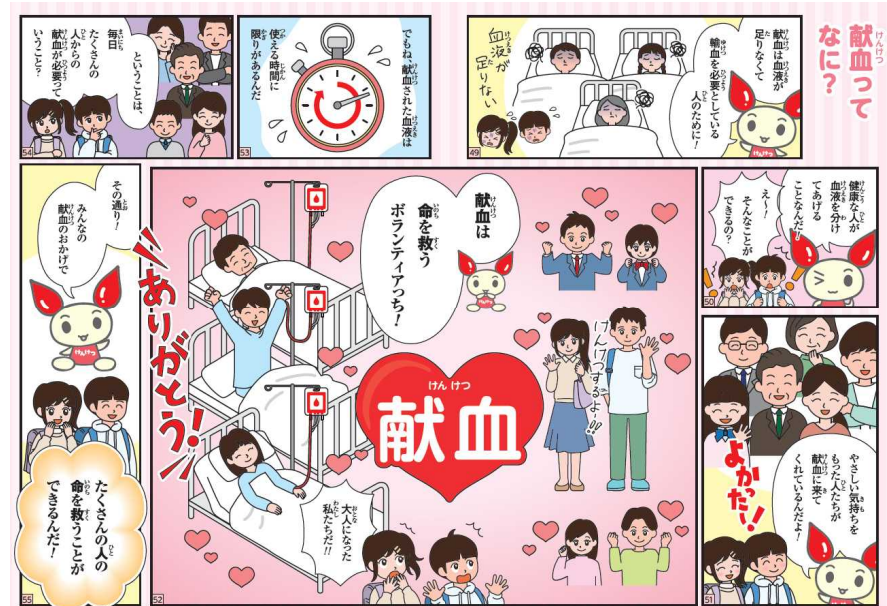
日本赤十字社のホームページにも掲載し、一般にも公開。また、同内容の動画も作成

「みんなで学ぼう 血液のこと」

令和6年2月に全国の小学校へ発送

配付小学校数	18,463校
配付数	1,211,561冊

令和6年度以降も配付する予定



献血教育冊子

(6) 献血Web会員サービス「ラブラッド」を活用した献血及び予約の推進

- ・「ラブラッド」の登録会員の獲得のほか、献血協力の事前予約を推進
⇒必要血液量を計画的かつ安定的に確保
- ・「ラブラッド」で抽出した循環血液量の多い方を中心に、献血協力を依頼
⇒必要血液量を少ない献血者数で効率的に確保



【「ラブラッド」の活用状況】

	ラブラッド会員数	予約率 (血小板成分献血)	予約率 (血漿成分献血)	予約率 (全血献血)
ラブラッド導入時 (平成30年10月)	約155万人	28.9%	21.4%	1.5%
令和4年度	約338万人	85.9%	81.9%	29.9%
令和5年度	約376万人	90.9%	88.2%	43.3%
増減 (R5-R4)	約38万人増	5.0ポイント増	6.3ポイント増	13.4ポイント増

ラブラッド会員数は増加し、予約率も向上

献血者に占めるラブラッド会員構成

献血者 5,009,281人

令和5年度実績

ラブラッド会員 3,983,558人 (79.5%)

非会員 1,025,723人 (20.5%)

献血推進・予約システム機能の活用

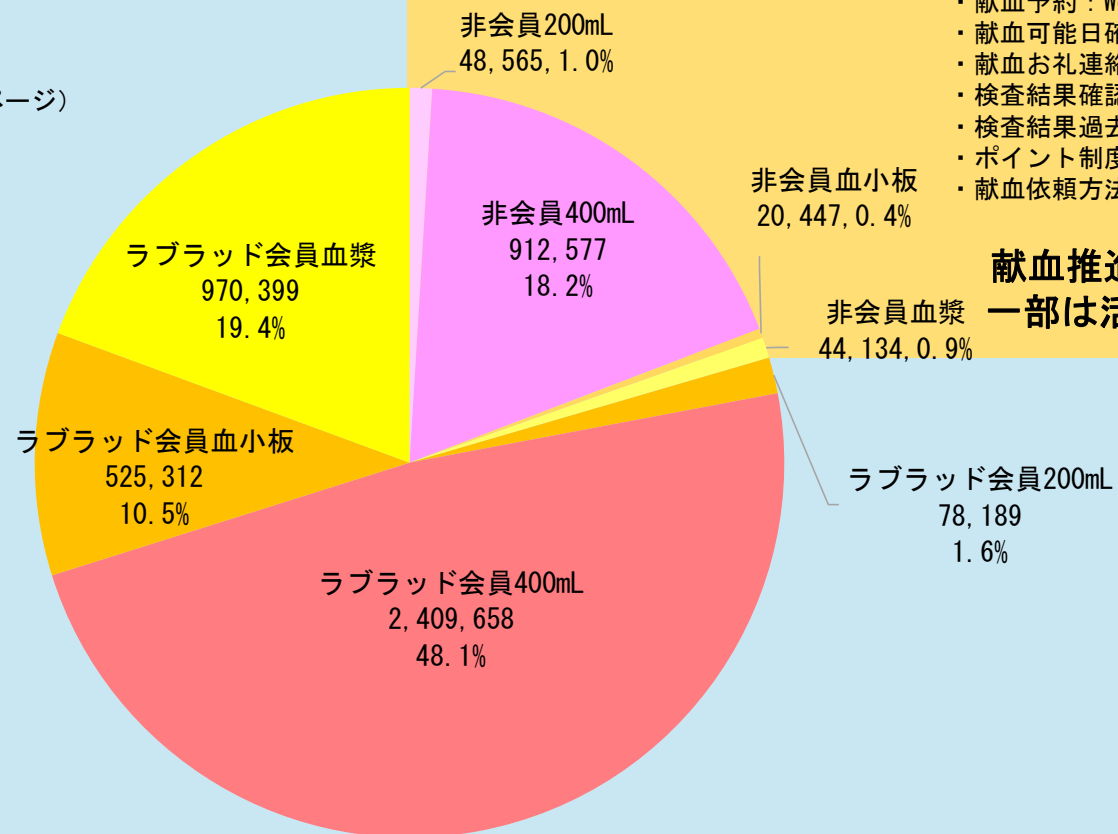
- ・献血予約：Web予約可能、職員対応可能
- ・献血可能日確認：可能（お知らせメール、マイページ）
- ・献血お礼連絡：可能（当日自動送信）
- ・検査結果確認：可能（メール、2～3日）
- ・検査結果過去データ：可能（Web閲覧可能）
- ・ポイント制度適用：可能
- ・献血依頼方法：メール、LINE（はがき）

献血推進・予約システムの積極的な活用が可能

献血推進・予約システム機能の活用

- ・献血予約：Web予約可能、職員対応可能
- ・献血可能日確認：可能（献血カード）
- ・献血お礼連絡：不可
- ・検査結果確認：可能（はがき、5～10日）
- ・検査結果過去データ：可能（はがき直近5回）
- ・ポイント制度適用：不可
- ・献血依頼方法：はがき、ポスター、呼びかけ

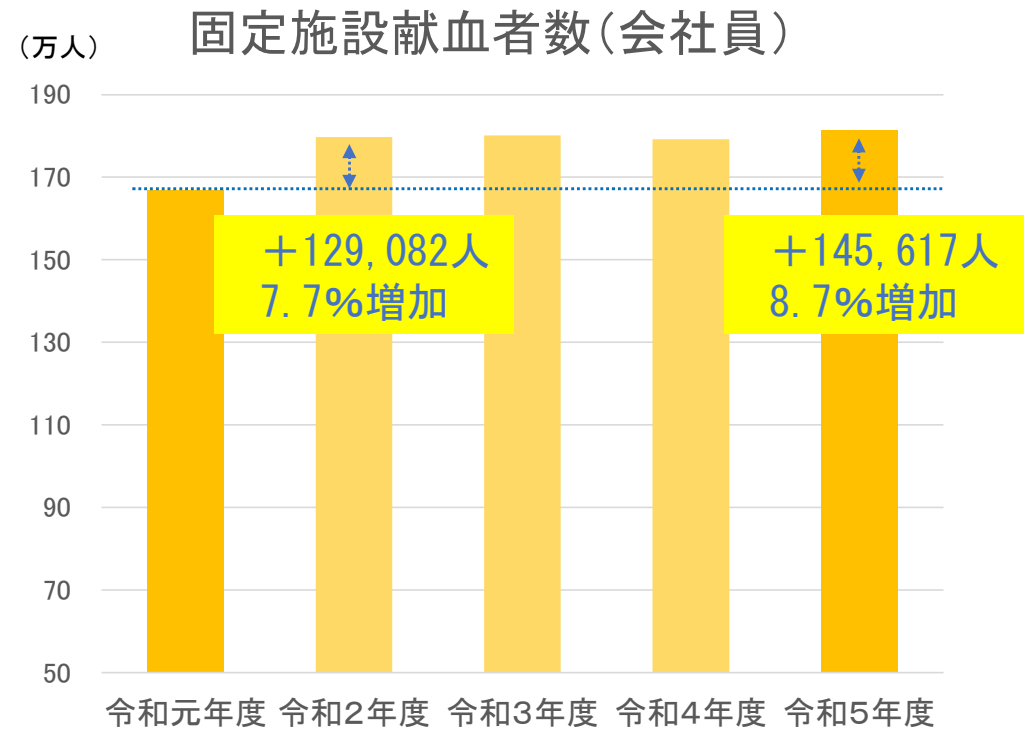
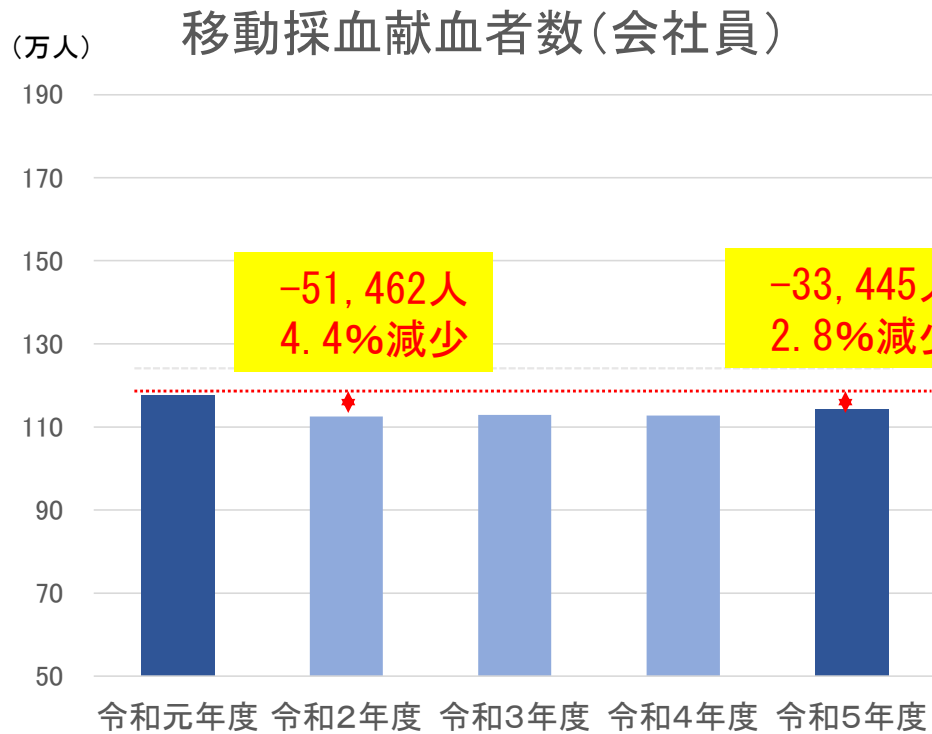
献血推進・予約システムの一部は活用可能



(7) 企業・団体に向けた取り組み

ア 企業献血の現状について

コロナ禍以降、企業におけるテレワークの定着等により、企業（団体）献血協力が減少した。



イ 企業等の勤務スタイルに適応した献血推進のための仕組みの構築と実施

企業に団体コードを付与し、団体コードを用いて献血した従業員等を企業献血の実績とする仕組みを構築し、実施した。

仕組み

① 血液センターから企業(団体)様へ
団体コードを付与



② 企業(団体)の献血担当者様から、
従業員(家族等を含む)の方に献血協力を依頼



③ 協力いただける従業員の方は、献血アプリ
等で予約し、団体コードを持って、献血会場
で献血



④ 従業員による献血協力は団体コードを用い
た企業の実績として集計・報告



ウ 経済団体等への働きかけ

経済団体等への働きかけにより、献血の重要性のみならず社会に向けて発信いただくことで、社会貢献活動としての献血の輪を広げていく。

週刊
経団連
タイムス
Policy & Action

Action(活動) 週刊 経団連タイムス 2024年1月11日 No.3620

幹事会で紀野日本赤十字社理事が講演

経団連は12月12日、東京・大手町の経団連会館で幹事会を開催した。日本赤十字社の紀野修一業務執行理事・血液事業本部長が「医療を支える献血～次世代につなぐ献血の輪」と題して講演した。概要は次の通り。

献血血液はわが国の医療現場を支える必要不可欠なものであるが、少子高齢化の進展や、行動様式の変容などを背景に、献血をめぐる状況は大きく変化している。特にコロナ禍を機に、在宅勤務者の増加などを背景として、10～40歳代の献血者が減少しており、献血血液の将来にわたる安定的確保が厳しい状況にある。



紀野氏


経団連タイムスに掲載された記事

インフォメーション

献血にご協力を

日本赤十字社では、献血への協力を求めている。コロナ禍以降、リモートワークの普及などにより、企業献血の受け入れ先が減り、会社員の献血協力が減少している。一方で輸血を必要とする患者は恒常的におり、同社は協力を呼び掛けている。

献血会場は都内13カ所の献血ルームのほか、献血バスで様々な場所を巡回している。献血の際はウェブやアプリ「ラブラッド」で予約可能。会場一覧など詳細は右の二次元コードを参照。



東京商工会議所機関紙【東商新聞】に掲載された献血の記事

(参考)

企業・団体にさらに献血に参画していただくため、コロナ禍を経た昨年度から、企業・団体の協力意義の明確化について、改めて検討を進めている。

◆ 検討例

献血サポーター制度の見直し

献血サポーターとは
医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力していただける企業・団体のこと。

※平成20年から運用開始

令和5年度登録団体数 6,928団体（うち新規登録46団体）

献血サポーターWEBサイトの改修

日本赤十字社ホームページ内において、団体献血について記載してある内容が少なく、各血液センターに問い合わせる内容になっていることから、献血に興味を持った団体が献血協力のイメージをつかみやすくなるような説明ページを追加するなど

献血サポーター
www.ken-sapo.jp

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

ホーム 献血サポーターとは 登録までの流れ 参加申し込み 参加団体のご紹介 参加団体一覧 よくあるご質問 関連リンク

日本赤十字社では、「献血」をサポートしていただける、企業や団体を募集しています。

年1回以上の献血に協力または支援しよう！
献血への協力・支援を呼びかけよう！
献血できる体調・健康を維持しよう！
緊急時に血液が不足した時に積極的に協力・支援しよう！

献血サポーター参加企業・団体募集

みなさんも献血サポーターに参加しませんか？

献血に協力している企業・団体の各種献血会場の提供に協力している企業・団体の皆様を広く募集しています。

▶ 献血サポーターとは？
▶ 参加申し込み
▶ 登録までの流れ
▶ 参加団体一覧

参加団体の紹介

一般社団法人 全国信用組合中央協会
日本全国の信用組合協会及び信用組合では、毎年9月9日を「しんくみの日」と定め、その前後1週間を「しんくみの日週間」として、各信用組合・信用組合で地域・業種・職域に根ざした様々な社会貢献活動を実施されています。

株式会社マルハン
創業50周年を機に、社会貢献活動として全従業員が参加する献血活動を平成19年6月より行っており、これまで多数の献血協力をいただいています。

イオンモール株式会社
イオンモール様は、地域のみなさまの暮らしそのものをつくるライフデザインディベロッパーとして、ショッピングセンターの開発・運営を通じて、新しい価値の提供に取り組まれています。

4 まとめ

- ・ 令和5年度においては、輸血用血液製剤及び原料血漿を滞りなく安定供給した。
- ・ 献血Web会員サービス「ラブラッド」では、献血予約を推進することで献血会場の混雑回避及び献血者の待ち時間を解消する等、安全性並びに利便性を高め、献血にご協力いただける機会の増加を図る。
- ・ 企業におけるテレワークが定着したことで、企業（団体）献血協力がコロナ前には戻らない状況にあり、企業・団体にとっての献血協力意義の明確化を図る必要がある。
- ・ 将来の献血基盤となる若年層については、小学生から大学生への教育・啓発（献血セミナー等）を、厚生労働省をはじめ、国・行政との連携を密にして積極的な展開を図る。